

0歳児 年間指導計画		目 標	・保育士等の愛情豊かな受容のもとで、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活する力の基礎を培う。 ・特定の保育士や身近な人とともに過ごす喜びを感じ、表情や発声などにより気持ちを通わせ、愛情や信頼感が芽生える。 ・身近なものに興味や関心がもてるようにし、見る・触れる・探索するなど、自ら関わろうとし、表情や手足、体の動きなどで表現する。								
期		満6か月～9か月未満		満9か月～12か月未満		12か月～1歳 3 か月		1歳3か月～1歳6か月		1歳6か月～2歳未満	
子 ど も の 姿		・離乳（初期、中期）が進み、少しずつ食べる量が増える。 ・二回寝のリズムが少しづつでき始め、眠って遊んで機嫌よく過ごす。 ・愛着関係を基盤として身近な人が分かり、なれない人に人見知りする。 ・手指の機能や全身の運動機能が発達し、ものをつまむ、四つばいから座位になる。		・初めて保護者と離れる不安から泣く姿があるが、特定の大人との応答的な関わりにより少しずつ新しい環境に慣れる。 ・保育士に見守られる中で安心して過ごし、腹ばい、お座りなど色々な姿勢になったり、目の前の玩具を持ったり、振ったり、持ち替えたりして遊ぶ。 ・離乳食に慣れ、少しずつ食べることができる量や食材が増えていく。		・歩き方が初めは両手を前や横にしてバランスをとり、徐々に両手を下げて安定してくる。 ・ハイハイしたり、歩いたりしながら、興味のある場所を探索する。 ・スプーンを持って食べようとしたり、コップを持って飲もうとしたりする。 ・プープー・ワンワンなど2つ重ねのことばを使い始め、言葉と物が一致してくる。		・歩行がいつそう安定し、目標を捉えて長い距離を歩く。 ・座る、はう、立つ、伝い歩き、手を使うなど運動機能の発達により探索活動が活発になる。 ・大人との関わりが深まり、一語文を使って伝えようとする。 ・友達にしていることや持っているものに興味を示し、真似てみたり、自分も同じように使ってみたりする。		・歩行の完成など、さまざまな運動機能の発達により行動範囲が広がる。 ・スプーンなどを使って、こぼしながらも自分で食べようとする。 ・食べ物の好き嫌いが出てくる。 ・一定時間安心して眠れるようになる。 ・周囲への関心が増し、大人と関わろうとする意欲が高まる。	
ね ら い	養 護	・保育士に見守られる中で、安心して過ごせるようにする。 ・気温の変化や体調に留意し、健康に過ごせるようにする。		・気温の変化や体調に留意し、健康に過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもの愛情や依存の欲求を満たし、情緒の安定を図る。		・安心して伸び伸びと動ける環境を整え、探索への意欲を高められるようにする。 ・一人一人の欲求を満たし、安定感をもって生活できるようにする。		・安心して伸び伸びと動ける環境を整え、探索への意欲を高められるようにする。 ・一人一人の欲求を満たし、安定感をもって生活できるようにする。		・一人一人の健康状態に留意し、感染予防に努め健康に過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。	
	教 育	・安心できる保育士との関係のもとで、機嫌よく過ごす。		・保育士との愛着関係を育みながら、他者への関心、関わりを深める。		・保育士との信頼関係が深まる中で、自分の気持ちを安心して表す。 ・様々な人やものを見たり、触れたりし、興味、関心を広げる。 ・気付いたことや要求を指さしや声で伝え、受け止めてもらう喜びを感じる。		・保育士と信頼関係を深める中で、自分の気持ちを安心して表す。 ・保育士と一緒に遊んだり、見守られながら一人遊びをする。		・保育士と一緒に遊んだり、見守られながら一人遊びをする。 ・保育士や友達と関わる中で、いろいろな言葉を使うことを楽しむ。	
内 容	養 護	・一人一人の子どもの健康状態や心身の発育、発達の状態を的確に把握する。 ・一人一人の気持ちを受容し共感しながら安心して過ごせるようにする。		・一人一人の健康状態に留意し、元気に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちや欲求を受け止め、応答的にかかわり、心地よく過ごせるようにする。		・思いや欲求を受け止められ、安心感をもって過ごせるようにする。 ・身近な物への興味や好奇心、関心をもち探索しようとする。		・体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育士とのやり取りを楽しめるようにする。 ・自分の思いを通そうとする気持ちを受け止め、安心して気持ちを表せるようにする。		・一人一人の欲求を受け止められることで自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・十分に認めてもらい、自分でしようとする気持ちをもてるようにする。	
	伸 び や か の 育 っ 身 近 な 人 と 通 じ 合 身 近 な も の と 育 っ	・一人一人の生活リズムに合わせて、眠い時は安心して眠る。 ・おむつが汚れているときは、優しい言葉をかけられながらこまめに取り替えてもらい、気持ちよくなった心地よさを感じる。 ・食事の前後や汚れた時は、顔や手を拭いてもらい、清潔になることの心地よさを感じる。 ・落ち着いた雰囲気の下、特定の保育士に抱かれたり語り掛けてもらったりして安定した気持ちになる。 ・寝返り、はいはい、お座り、などそれぞれの発達にあった活動を十分に行う。 ・暖かい日には戸外に出て、外気浴をしたり自然にふれたりする。 ・保育士に見守られて、玩具や身の回りの物で一人遊びをする。 ・音の出る玩具を見たり触ったりする。 ・一人一人の子どもの心身の発達状態を十分に把握しながら認め、楽しく活動できるようにする。 ・一人一人の気持ちを受容し共感しながら安心して過ごせるようにする。		・離乳食を喜んで食べ、いろいろな食べ物を見たり、触ったり、味わったりする。 ・保育士に誘われてトイレに行き、オマルでの排泄に興味をもつ。 ・一人一人の生活リズムを大切にもらい、眠い時は安心して眠る。 ・食事の前後や汚れた時は、顔や手を拭いて清潔になることの心地良さを感じる。 ・生活や遊びの中で、保育士のすることに興味をもったり、手遊びや模倣をしたりしながら、喃語や簡単な単語を発する。 ・まわりの友達に関心をもち、そばで遊ぶことを楽しむ。 ・天気の良い日は、できるだけ戸外に出て、外気に触れて遊ぶ気持ちよさを感じる。 ・安全で活動しやすい環境の中で、一人一人にあった活動を十分に行う。		・離乳食は一人一人の発育状態に合わせて進めていく中で、少しずつ慣れ、食べることを喜ぶ。 ・食事の前後や汚れた時は、顔や手を拭いてもらい、清潔になることの心地よさを感じる。 ・おむつが汚れたら替えてもらい、気持ちよくなった心地よさを感じる。 ・一人一人の生活リズムを大切にすることで、眠い時は、安心して十分に眠る。 ・伝い歩き、歩くなどそれぞれの発達に合った活動を十分に行なう。 ・保育士と一緒に異年齢の友だちと共に過ごす。 ・保育士の語りかけに、喃語や動作で応える。 ・一人一人の発達に応じて、保育士と一緒に水にふれて遊ぶ。 ・保育士の歌や音楽を聞き体を動かして喜ぶ ・つまむ、たたく、引っ張る、など手や指を使って遊ぶ。 ・保育士に見守られて、玩具や身の回りの物で一人遊びを十分にする。		・幼児食に慣れ、コップやスプーンを使って、自分で食べようとする。 ・オマルに興味をもって座ろうとし、排尿する気持ち良さが分かる。 ・一人一人の生活リズムに合わせ、眠い時は安心して十分眠る。 ・食事の前後や汚れた時は、口のまわりや手を洗ったり拭いてもらったり、清潔になることの心地良さを感じる。 ・探索活動を楽しみ、みんなということを喜ぶ。 ・安全で活動しやすい環境の中で、一人一人の発達にあった活動を十分に行なう。 ・生活や遊びの中で、保育士のすることに興味をもったり模倣したりする。 ・つまむ、たたく、引っ張る、ねじるなど手や指先を使って遊ぶ事を楽しむ。 ・保育士や異年齢の友だちと触れ合って遊ぶ。 ・戸外遊びや散歩を通して、動植物に興味をもったり外気に触れ、気持ちよく遊んだりする。 ・保育士に絵本などを読んでもらったり、手遊びをしたりしながら、簡単な言葉を発する。 ・保育士と一緒に体を十分に動かして遊ぶ。		・食事の前後や汚れた時は、顔や手を拭いて清潔になることの心地良さを感じる。 ・保育士に誘われてトイレに行き、オマルや便器での排泄をしようとする。 ・眠い時は安心して眠る十分眠る。。 ・まわりの友だちに関心をもち、一人遊びを十分に楽しむ。 ・生活や遊びの中で、保育士のすることに興味をもったり、手遊びや模倣をしたりしながら、簡単な単語を言おうとする。 ・手や指を使って遊ぶ。 ・天気の良い日は、できるだけ戸外に出て、探索活動を十分に ・身近な素材に触れる。	
環 境 構 成 と 援 助		・一人一人の子どもの生理的欲求を十分に満たし、保育士の愛情豊かな受容により、気持ちの良い生活ができるようにする。 ・はいはいや歩行などの発達に合わせて一人一人の活動が楽しめるよう、清潔で安全な環境を整える。 ・保育室や子どもの身の回りの環境の点検を常に行い、清潔な状態に保ち、危険のないようにする。 ・一人一人の生活リズムに配慮しながら、安心して眠れるようにし、5分ごとに睡眠の様子をチェックする。 ・梅雨時期を快適に過ごせるように、室内の換気や衛生に気をつける。 ・室温や湿度・風通しに気を配り、休息や水分補給を十分にとれるようにする。									
家 庭 と の 連 携		・子どもの成長を保護者と共に喜べるように、家庭での過ごし方、園での様子について連絡を取り合い、共通理解を図っていく。 ・子育ての悩みや疑問など保護者の気持ちを受け止め、丁寧にかかわっていく。 ・健康面、家庭での過ごし方について連絡を取り合い、新しい生活の様子についても丁寧に知らせ共通理解を図っていく。 ・成長発達、既往歴、アレルギーなどを把握し、対応の仕方について、職員全員が共有し、連絡を密にする。 ・流行している感染症の情報を掲示し、健康状態について連絡を取り合い、体調の変化に早めに対応し、早期発見や予防に努めてもらう。									

1歳児 年間指導計画		目 標	・安心できる保育者との関係のもとで、食事・排泄・着脱などの活動を通して自分でしようとする。 ・身の回りの物事に好奇心や興味をもち、経験を広げながら、いろいろな遊びを楽しむ。 ・保育者と楽しく触れ合う中で、自分の思いを言葉や行動で表現し、伝える喜びを味わう。 ・保育者との関わりを通して、友達とも触れ合い、関心をもつ。	
期		Ⅰ期（4月・5月）		Ⅱ期（6月・7月・8月）
子 ど も の 姿		・新しい環境や生活に戸惑いや不安をもつ子どももいる。 ・運動機能の発達やことば、生活の仕方など個人差が大きい。 ・保育者に少しずつ慣れ、安心して過ごす。		・園の生活リズムが少しずつ分かり、身近な人や身の回りのものに関心をもち触れたり試したりする。 ・食事、睡眠、排泄など、一人でしようとする子どももいる。 ・したい事やしてほしい事を表情や指差し、片言などで伝えようとする。
ね ら い	養　護	・一人一人の子どもの生理的欲求や甘えを満たし、安心して過ごせるようにする。 ・保健的で安全な環境を作り、体の状態を観察し、感染症や異常の発見に努め、快適に生活ができるようにする。		・梅雨期の保健衛生に留意し、快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもの心身の状態に応じて、睡眠など十分な休息を取るようにし、快適に生活できるようにする。 ・自分の気持ちを安心して出していけるよう、一人ひとりの思いを受け止め共感していくようにする。
	教　育	・新しい環境や生活に慣れ、安心して過ごす。 ・保育者と一緒に好きな遊びや玩具を見つけて遊ぶ。		・保育者に見守られながら、好きな遊びや夏の遊びを十分に楽しみ、満足感を味わう。 ・身の回りのことに興味をもち、保育者と一緒に少しずつやってみようとする。
内 容	養　護	・一人一人の子どもの心を理解し、受容することにより、信頼関係を深め、子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・一人一人の子どもの健康状態や心身の発達状態を把握し、適切に対応する。 ・慣れない味や食感を嫌がるが、あせらずゆっくり食べられるようにする。 ・スプーンやフォークを使って食べようとする気持ちをもてるようにする。 ・保育者と一緒に口拭きや手拭き、手洗いをしようとする。 ・オムツやパンツが汚れたら、取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じる。		・こまめに汗を拭いたり、下着を替えたりして清潔にすることの心地よさを感じる。 ・楽しい雰囲気の中で手づかみやスプーンで食事をしようとする。 ・誘われてトイレに行き、オマルや便器に座ろうとする。 ・保育者に手伝ってもらいながら、一緒に簡単な衣服の着脱をやってみようとする。
	健　康 人　間 関　係 環　境 言　葉 表　現	・新しい生活の場に慣れ、好きな保育者に気持ちを受け止めてもらい、安心して生活する。 ・保育者に見守られ、自分の好きな遊びを見つけたり、気に入った場所で遊んだりする。 ・身近な春の自然に触れ、様々なものに興味をもち、見たり触れたりする。 ・保育者の話しかけを喜んだり、指差し、身振り、喃語、片言で自分の思いや欲求を伝えようとする。 ・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かすことを喜ぶ。 ・簡単な絵本をめくって見たり、保育者に読んでもらったりすることを喜ぶ。		・一日の生活の流れが分かり、園生活のリズムに合わせて行動しようとする。 ・保育者と一緒に戸外遊びや夏ならではの遊びを楽しむ。 ・保育者に見守られ、一人遊びを十分に楽しむ。 ・虫や草花などに触れながら探索を楽しむ。 ・好きな絵本を繰り返し見たり、お話や心地よい音、音楽を聞いたりすることを楽しむ。 ・保育者の言葉掛けを喜んだり、自分から片言を話したりする。 ・水や砂、泥、片栗粉など様々な感触を楽しむ。
環 境 構 成 と 援 助		・一人一人の思いを十分に受け止め一对一の関係を大切にし、親しみがもてるようにする。 ・保育者に見守られ、安心して好きな遊びができるよう、家庭的な環境を整える。 ・安全点検や衛生管理チェックを通じて保育室や園庭の安全を確認し、安心して遊べるようにする。 ・子どもの食事、睡眠時間を把握し、その子どもに合った生活リズムを大切にしていく。 ・滑る、登る、押す、くぐる、のぞくなどの動きのある遊びが楽しめるような遊具やスペースを確保する。 ・子どもの興味や発達に合わせて玩具や絵本を用意する。 ・喃語や片言を優しく受け止めながら発語を促す。		・暑さで疲れやすい時期なので、水分補給や十分な休息、睡眠に配慮しながら夏を快適に過ごせるようにする。 ・行動範囲が広がるので、園舎内外の安全を確認し、思いがけない事故が起きないように、子どもの遊びの様子に目を配る。 ・子どもの発達や興味を考慮して、玩具や遊具、水遊びの用具、絵本などを用意し、十分楽しめるよう環境を整える。 ・戸外に出る時は、時間帯や気温などに注意して、帽子や服装に配慮したり、テントやパラソル等を使用したりする。
家　庭 との 連　携		・保育所や家庭での様子を連絡帳や送迎時の会話で丁寧に伝え合い、互いの信頼関係を築き、保護者に安心感をもってもらう。 ・流行している感染症の情報を提供し、早期発見や予防に努めてもらう。		・皮膚疾患や感染症の情報を知らせ、異常が見られた時は、早めに受診してもらうようにする。 ・一人一人の健康状態や園生活の様子を連絡帳等で知らせ合い、連携を密にしていく。 ・夏の生活の仕方を知らせ、着替えを多めに用意してもらう等、快適に過ごせるように協力してもらう。

1 歳児		Ⅲ期（9 月・1 0 月・1 1 月・1 2 月）	Ⅳ期（1 月・2 月・3 月）
子 ど も の 姿		・つまむ、めくるなど、手や指を使った遊びが出来るようになる。 ・物をやり取りしたり取り合ったりするなど、人や物へ関わろうとする。 ・大人の言う事が分かるようになり、応対的な関わりを喜ぶ。	・スプーンやフォークを上手に使い、一人で食べられるようになる。 ・排泄は保育者に言葉や表情で伝えられるようになる。 ・友達や保育者の名前を覚え、一緒に遊ぶようになる。
ね ら い	養 護	・保健的で安全な環境を作り、健康状態を細かく観察し、感染症や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。 ・生活や遊びの中で、子どものしたいことを心ゆくまでできるようにし、情緒の安定を図る。 ・安心できる保育者との関係のもとで、食事や排泄など、自分でしようとする気持ちが芽生えるようにする。	・保健的で安全な環境を作り、健康状態を細かく観察し、感染症や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。 ・一人一人の成長を認め、大きくなったことに喜びを感じられるようにする。 ・衣服の着脱に興味をもち、保育者と一緒に自分で脱いだりはいたりしようにする。
	教 育	・散歩や遊びを通して、全身を動かす楽しさ味わう。 ・遊びや生活の中で、保育者との関わりを通して様々な言葉を覚え、自分も使ってみようとする。 ・いろいろな遊びの中で、友達とのかかわりを楽しむ。	・保育者と一緒に簡単な身の回りのことをしようとし、自分でできたことを喜ぶ。 ・保育者を仲立ちとして、友達とかかわりながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・保育者や友達と一緒に簡単な言葉のやりとりを楽しむ。
内 容	養 護	・一人一人の子どもの健康状態や心身の発達の状態を把握し、適切に対応する。 ・遊びや生活をする中で、保育者に自分の気持ちを受けとめてもらい安定することで、友達の存在に気付けるようになる。 ・楽しい雰囲気の中で、スプーンを使って、こぼしながらも自分で食べようとする。 ・保育者の言葉かけでトイレに行き、見守られて排泄しようとする。 ・衣服の着脱に興味をもち、保育者と一緒に自分で脱いだりはいたりしようにする。	・遊びや生活をする中で、保育者に自分の気持ちを受けとめてもらい安定することで、友達の存在に 気付けるようになる。 ・楽しい雰囲気の中で、苦手なものでも少しずつ食べようとする。 ・一人一人の子どもの排尿間隔を把握し、保育者に誘われたり、自分から知らせたりし、トイレで排泄しようとする。 ・衣服の着脱に興味をもち、保育者と一緒に自分で脱いだりはいたりできるようにする。
	健 康	・保育者や友達の名前を覚えて呼んだり、保育者の仲立ちで友達との関わり方を少しずつ身につける。 ・走る、登る、跳ぶ等、全身を使った遊びを楽しむ。 ・戸外遊びや散歩を楽しみながら、秋の自然に触れ、いろいろなものに興味、関心をもつ。 ・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。 ・保育者と一緒に歌を歌ったり、友達の模倣をしたり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。 ・つまむ・めくるなど、手や指を使って遊ぶ。	・保育者や友達の名前を覚えて呼んだり、保育者の仲立ちで友達との関わり方を少しずつ身につける。 ・走る、登る、跳ぶ等、全身を使った遊びを楽しむ。 ・冬の自然に触れながら、戸外で体を動かして遊ぶ。 ・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。 ・保育者や友達と一緒に遊びながら、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。 ・リズムに合わせて体を動かしたり、簡単な表現遊びをしたりすることを楽しむ。 ・保育者や友達と一緒に様々な素材に触れて遊ぶ。
	人 間 関 係		
	環 境		
	言 葉 表 現		
環 境 構 成 と 援 助		・危険な物を取り除き、ケガのないように安全な環境設定を行い、常に清潔な状態を保つ。 ・子どもの発達や興味を考慮して、玩具や遊具、絵本などを用意し、十分楽しめるような環境を整える。 ・異年齢児との交流の機会をもつ。 ・感染症にかかることが多い時期なので、発熱などの身体の状態、機嫌、食欲などに十分注意を払って観察を行う。 ・季節の変わり目などは、気温や一人一人の体調に応じて、衣服の調節をこまめにし、薄着で生活できるようにする。 ・一人一人の健康状態に応じ、無理に食べさせないようにし、同時に噛むことの大切さが身につくよう言葉をかけたり保育者が見せたりする。 ・探索活動が活発になるので、環境の安全性、子どもの活動の状態、相互のかかわりなどに十分注意する。 ・自分でしようとしている時や何かに熱中している時には、温かく見守ったり援助したりする。 ・子どもの発見や驚きを見逃さず受け止め、興味や好奇心を満たすようにする。 ・子どものつぶやきやしぐさに共感し、言葉を使うことや表現する喜びが感じられるようにする。	・危険な物を取り除き、ケガのないように安全な環境設定を行い、常に清潔な状態を保つ。 ・指先の発達を促すような玩具や素材を十分に用意する。 ・異年齢児と一緒に過すことをよろこぶ。 ・自分でできた時は認め、満足感をもてるようにし、一人でできることを広げていくようにする。 ・友達と関わって遊ぶことが楽しいと感じられるように、一緒に楽しめる遊びを工夫する。 ・保育者が仲立ちとなり、友達の気持ちやかかわり方を丁寧に伝えていくようにする。 ・保育者や友達との遊びの中で簡単な言葉のやりとりや、表現する楽しさを感じられるようにする。 ・自分でしようとしている時や何かに熱中している時には、温かく見守ったり援助したりする。 ・子どもの発見や驚きを見逃さず受け止め、興味や好奇心を満たすようにする。 ・子どものつぶやきやしぐさに共感し、言葉を使うことや表現する喜びが感じられるようにする。
家 庭 と の 連 携		・季節の変わり目で、体調をくずしやすくなるので園や家庭での子どもの様子を伝え合う。 ・薄着の大切さを知らせ、調節しやすい衣服を用意してもらえようにする。 ・いろいろな場面で「自分で」という気持ちを大切にしてもらえように関わってもらう。	・流行している感染症の情報を提供し、早期発見や予防に努めてもらう。 ・身の回りの簡単なことを一人でしようとする気持ちを大切にしてもらえよう伝えていく。 ・子どもの発達を温かく見守りながら、成長を共に喜び合えるようにする。

2 歳児 年間指導計画		目 標	・保育者との安定した関わりの中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・戸外遊びや散歩を通してのびのびと全身を使って遊ぶ楽しさを味わう。 ・保育者の仲立ちにより、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。 ・保育者や友達と生活や遊びの中で、言葉のやりとりを楽しんだり、自分の思いや要求を表現したりする。	
期		Ⅰ期（４月・５月）		Ⅱ期（６月・７月・８月）
子 ど も の 姿		・新しい環境に不安を感じる姿もあるが、少しずつ生活にも慣れ保育者の側で安心して過ごすようになる。 ・自分の気に入った遊びを選んだり、友達のしている遊びに興味をもったりする。また一緒に遊んだり真似をしたりして、友達と関わろうとする姿もある。 ・生活や遊びの中で保育者の仲立ちのもと、簡単な言葉のやりとりをする。		・保育者に手伝ってもらいながら衣服の着脱や排泄などをしようとする。 ・汚れることや顔に水がかかるのを嫌がる子が見られるなど個人差はあるが、泥んこや水遊びを通して夏ならではの遊びを楽しんでいる。 ・保育者や友達のしている事が気になり動作を真似たり、一緒に遊んだりする。 ・自我が芽生え自己主張が強くなり、自分の要求を通そうとする。
ね ら い	養 護	・一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存欲求を満たし、安心して過ごせるようにする。 ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活ができるようにする。 ・一人一人の子どもの健康状態や発達状態を把握し、適切に対応する。 ・一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して過ごせるようにする。		・夏の衛生面に気を配り保健的で安全な環境をつくり、体の状態を観察し、快適に生活できるようにする。 ・夏季の健康に留意して、水分補給や衣服の調節を行い元気に過ごせるようにする。
	教 育	・身の回りのことを保育者と一緒にしながら、生活の仕方を知る。 ・保育者と一緒に自分の好きな遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。		・保育者に気持ちを受け止めてもらいながら、友達と一緒に過ごす。 ・保育者に手伝ってもらいながら、自分の思いを言葉や仕草で伝えようとする。 ・保育者や友達と一緒に、夏ならではの遊びを楽しむ。 ・自分の思いを言葉や仕草で伝えようとする。
内 容	養 護	・食事に慣れ、保育者や友だちと楽しい雰囲気の中で食べる。 ・保育者の誘いのもと、一緒にトイレに行き排泄する。 ・保育者に助けてもらったり見守られたりしながら、簡単な衣服の着脱をしようとする。 ・新しい環境の中で、安心して眠る。		・適切な休息を取りながら、梅雨期や暑い時期を健康で快適に過ごせるようにする。 ・水分や休息を十分に取り、健康に過ごす。 ・楽しい雰囲気の中でスプーンやフォークの正しい持ち方を知り食事をする。 ・保育者に誘われたり、自分で尿意を知らせたりしてトイレに行き、見守られながら排泄しようとする。 ・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱や身の回りの事をしようとする。 ・静かな落ち着いた雰囲気の中で、十分に眠る。
	健 康	・保育室など新しい生活の場や生活リズムに少しずつ慣れ、安定感をもって過ごす。 ・自分の持ち物の置き場所や使い方など、保育者と一緒にしながら覚え、生活の仕方を知る。 ・保育者に見守られながら好きな遊びを見つけて遊ぶ。		・水や土、砂に触れながら、全身を使って夏ならではの遊びをする。 ・保育者の仲立ちのもと、友達と一緒に遊ぶ。 ・保育者と一緒に避難訓練に参加する。
	人 間 関 係	・生活の中で、簡単な挨拶をする。 ・保育者と一緒に避難訓練に参加する。		・身近な小動物に関心をもち、見たり触れたりする。 ・自分の気持ちを簡単な言葉や仕草で伝えようとする。
	環 境	・園庭で身近な春の草花や小動物に興味を持って見たり触ったりする。 ・自分のしたいことやしてほしいことを言葉や仕草で表そうとする。		・繰り返しのある絵本を喜んで見たり、読んでもらったりする。 ・保育者と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。
	言 葉	・生活や遊びの中で、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。 ・保育者や友だちと一緒に手遊びをしたり、音楽に合わせて体を動かしたりする。		・水、砂、泥等、変化する素材の感触を楽しむ。
	表 現	・好きな歌を歌ったりリズム遊びを楽しんだりする。 ・ひっぱる・通す・つまむなど、指先を使った遊びをする。 ・粘土・紙・砂など身近な素材に触れる。 ・生活や遊びの中で、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。		
環境構成 と 援 助		・家庭的な雰囲気の中で生活ができるように、生活や遊びの場を整え、清潔・安全を心がける。 ・室内外の遊具や玩具の点検及び安全の確認をする。 ・子どもが安心して過ごせるようにスキンシップをとり不安な気持ちを受け止めゆったりと関わるようにする。 ・一人一人の子どもの好みや食べる量を把握し、楽しい雰囲気を大切にして食事をする。 ・自分でしようとする気持ちを大切にしながら、優しく語りながら、ほめたり、励ましたりして、難しいところは手伝う。 ・保育者と一緒に手や口を洗って、言葉をかけながら気持ちよくなったことに気付けるようにする。 ・子どもの見立てやつぶやきに共感し、話したくなるような楽しい雰囲気をつくるようにする。 ・一人一人が気に入った絵本をいつでも取り出せるように置いておき、読み聞かせなどを通して、子どもの気持ちを満たせるようにする。 ・保育者は表情豊かに一緒に遊び、一人一人の子どもの気付きに共感する。		・暑さで疲れやすい時期なので、一人一人の健康状態を把握し、休息や水分を十分にとれるようにする。 ・室内外の気温の差に気をつけ、清潔で快適に過ごせる環境を整える。 ・自分でしようとする気持ちを大切に見守ったり励ましたり、さりげなく手助けしながら意欲を育てていく。 ・午睡前に絵本を読むなど、落ち着いた雰囲気をつくり、涼しい環境でしっかり睡眠がとれるように室温調整をする。 ・自己主張が多くなり友達とトラブルがあった時は、保育者が仲立ちをして友達との関わりを知らせていくようにする。 ・気候や気温の状況に応じて、熱中症対策等子どもの健康に配慮して夏ならではの遊びが十分楽しめる環境を整える。
家 庭 との 連 携		・園での様子、家庭での様子を伝え合いながら、互いの信頼関係を築いていく。 ・新しい環境で不安定になる子もいるので、家庭ではできるだけゆったりとかかわって子どもの気持ちを受け止めるようにしてもらう。		・夏を元気に過ごせるように、一人一人の子どもの健康状態についてこまめに連絡し合う。 ・汗のかきやすい時期なので、着脱のしやすい衣服を多めに用意してもらう。

2 歳児		Ⅲ期（9 月・1 0 月・1 1 月・1 2 月）	Ⅳ期（1 月・2 月・3 月）
子 ど も の 姿		・保育者に見守られたり、手助けをしてもらったりしながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達とのかかわりが増え、一緒に遊ぶことを楽しむようになる。 ・身近な自然に興味をもち、見たり、触れたりすることを喜ぶ。	・着脱・排泄・うがいなど簡単な身の回りのことを最後まで自分でしようとする。 ・保育者の見守りの中、少人数で見立て遊びなどで遊び、友達との関わりが増えてくる。 ・生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いを簡単な言葉で相手に伝えようとする。
ね ら い	養 護	・保健的で安全な環境をつくり、体の状態を把握し、快適に生活できるようにする。 ・季節の変化や気温に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。	・安心できる保育者との関係のもとで、簡単な身の回りのことを自分でできるようにする。 ・季節の変化や気温に留意し、感染症予防に努め、健康で快適に過ごせるようにする。
	教 育	・保育者と一緒に十分体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・様々な遊びに興味や関心をもち、友達と関わろうとし、一緒に遊ぶ。 ・戸外遊びや散歩を通して、身近な自然の中で遊ぶ。	・ごっこ遊びや簡単なリズム遊びを通して、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・見たり、触れたり、感じたりしたことを自分なりの言葉で表現しようとする。 ・進級に期待をもちながら、身の回りのことを行い自分でできることに喜びを感じる。
内 容	養 護	・スプーンやフォークを正しく持ち、食事ができるようにする。 ・保育者に誘われたり自分で尿意を知らせたりして、トイレに行き見守られながら排泄できるようにする。 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者に手伝ってもらいながら手や口を洗う・鼻をかむ・うがいをするなど少しずつ自分でしようとする。	・箸を使って食べようとする。 ・保育者に誘われたり自分で尿意を知らせたりして、トイレに行き見守られながら排泄できるようにする。 ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者に見守られながら手を洗う、鼻をかむ、うがいをするなど少しずつ自分でしようとする。
	健 康	・走る・跳ぶ・登る・押す・くぐる・転がるなど、全身を使った遊びをする。	・十分に体を動かして遊ぶ。
	人 間 関 係	・集団生活に必要な簡単なきまりを知る。 ・保育者と一緒に避難訓練に参加する。 ・異年齢児に関心をもち、関わろうとする。 ・自然や小動物に触れ、興味や関心をもつ。	・保育者と一緒に避難訓練に参加する。 ・簡単な約束事を守って、友達と遊ぶ。 ・異年齢児に関心をもち、関わろうとする。
	環 境	・自然や小動物に触れ、興味や関心をもつ。 ・色・形・大きななどに興味をもつ。	・保育者と一緒に、冬の自然に触れたり体で感じたりする。
	言 葉	・したいことやしてほしいことを保育者に動作や言葉で伝えようとする。 ・保育者や友達と一緒に簡単なごっこ遊びをする中で、言葉のやりとりをする。	・したいことやしてほしいことを保育者に言葉で伝えようとする。 ・指先を使った遊びをする。
	表 現	・ちぎる、丸める、引っ張る、通す、つまむなど、指先を使った遊びをする。 ・好きな歌を覚えて保育者と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ楽しさを知る。	・歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。
環 境 構 成 と 援 助		・気温や活動に応じて衣服の調節をし、薄着の習慣をつけるようにする。 ・子どもが楽しみながら全身や指先を使う活動ができるような遊びを取り入れる。 ・午睡の前に絵本を読んだり、落ち着いた雰囲気をつくったりし、ゆったりとした気持ちで眠る事ができるようにする。 ・いろいろな場面で友達とのぶつかり合いが多くなるので、互いの気持ちを受け止め、保育者が仲立ちをして、友達との関わり方を知らせる。 ・自然に触れて遊べるように、散歩など戸外での活動を多く取り入れる。 ・保育者も一緒にしながら手洗い・うがいの習慣が身につくようにする。 ・子どもが伝えたい気持ちを受け止め、言葉にしたり友達に伝えたりしてやりとりの楽しさが感じられるようにする。	・遊びに誘ったり一緒に遊んだりして、友達との関わりを楽しめるようにする。 ・スプーンやフォークが正しく使えることを目安にして箸を用意し、自分で食べやすい用具を選べるようにしておく。 ・保育者も一緒にしながら手洗い・うがいの習慣が身につくようにする。 ・午睡の前に絵本を読んだり、落ち着いた雰囲気をつくったりし、ゆったりとした気持ちで眠れるようにする。 ・暖かい日は戸外で体を動かして遊べるように誘い、冬の自然に触れる機会を作る。 ・進級に期待と安心感をもたせるために、3 歳児クラスとの連携を図り、交流の機会を多くもつ。 ・基本的生活習慣については個人差を把握し、できるようになったことを子どもと一緒に喜び、自信をもてるようにする。 ・自分でしようとする気持ちを十分に認めながら甘えたい気持ちも受け止め、自信をもって生活できるようにする。 ・子どものイメージに共感したり言葉を添えたりして、言葉の繰り返しややりとりが楽しめるようにする。
家 庭 との 連 携		・体調や気候に合わせて調節しやすい衣服を用意してもらうように伝える。 ・いろいろな場面ででてくる「自分で」という気持ちを大切にしてもらえよう知らせ、子どもへの関わり方を一緒に考えていく。 ・感染症など流行する時期なので予防や対応などを知らせていく。又、子どもの健康状態に留意しながら 連絡を密に取り合えるようにする。	・子どもの成長を伝え、共に喜び合えるようにするとともに、3歳児クラスの中での生活の流れを伝え進級への 不安をやわらげられるようにする。 ・進級に必要な準備物を具体的に知らせるとともに、衣服や布団などは再点検してもらう。 ・いろいろな場面で出てくる「自分で」という気持ちを大切にしてもらえよう、その意味を伝え、子どもへの関わり方を一緒に考えていく。 ・感染症など流行する時期なので予防や対応などを知らせていく。又、子どもの健康状態に留意しながら 連絡を密に取り合えるようにする。

3歳児 年間指導計画		目 標	・園生活の流れや生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者との信頼関係を基礎に友達やいろいろな人にかかわろうとする。 ・自然や身近な環境の中で体を十分に動かし、様々な運動遊びを楽しむ。 ・保育者や友達と親しみ、ふれあいながら、安心して自分のしたい遊びに取り組む。 ・自分の要求や感じたことを言葉で伝えたり様々な方法で表現したりする。	
期		Ⅰ期（4月・5月）		Ⅱ期（6月・7月・8月）
子どもの姿		・園生活に戸惑い保護者と離れる時に泣いたり、不安そうな表情で過ごしたりする。 ・園での生活リズムを少しずつ覚え、慣れてくると自分から遊び始める。 ・保育者に親しみをもち、まわりの友達に関心をもつ。		・園の生活リズムに慣れ、身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者に親しみ安定するにつれ、新しい活動にも自分から取り組み、遊びの場を広げていく。 ・いろいろなことに興味を示し、生活や遊びの中で見たり触れたり試したりする喜びを味わう。 ・保育者や友達に関心をもち、かかわろうとする。
ねらい	教 育	・喜んで登園し、保育者に親しみをもち。 ・園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。 ・園の遊具や玩具に興味をもち、自分から遊ぼうとする。		・園での生活の仕方がわかり、簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。 ・水や砂の感触を味わいながら、思う存分にあそぶ。 ・保育者や友達と一緒に生活することに慣れ、安心して活動できるようになる。
	養 護	・一人一人の子どもの気持ちや考えを理解し、温かく受容して、安心して過ごせるようにする。 ・楽しんで食事や間食をとることができるようにする。		・子どもの気持ちや考えを受け止め、一人一人に丁寧な対応することで信頼関係を深めていく。 ・梅雨期や夏期を保健的で快適に過ごせるようにする。 ・疲れやすい時期なので適切な休息をとり、心身の疲れを癒すようにする。
内容	養 護 健 康 人 間 関 係 環 境 言 葉 表 現	・保育者に手伝ってもらいながら、食事・排泄・手洗い・うがい・着脱などの身の回りのことを自分でしようとする。 ・自分のクラスがわかり、保育者や友達と一緒に過ごす。 ・慣れ親しんだ玩具を使って安心して遊ぶ。 ・園生活に必要な簡単なきまりや約束を知る。 ・安全な遊具の使い方を知る。 ・避難訓練に参加し、避難の合図を知る。 ・気持ちよくあいさつを交わしたり、名前を呼ばれたら返事をしたりする。 ・自分のものをしまっておく場所がわかり、簡単な身の回りの始末を保育者に手伝ってもらいながら自分でしようとする。 ・異年齢児に親しみをもち。 ・身近な動植物を見たり、触れたりして親しみをもち。 ・したいことや、してほしいことを保育者に表情・身振りや言葉などで伝えようとする。 ・みんなで一緒に保育者の話や絵本などを聞いたり、見たりする。 ・みんなと一緒に知っている歌をうたったり手遊びをしたりする。 ・土、砂、粘土などの感触を味わったり、つくったりする。 ・かいたりつくったりして遊ぶ。		・気温の変化に応じて適切な休息をとり、健康に生活できるようにする。 ・食事、排泄、着脱など、一人でしようとしたり、できないことを保育者に伝えたりしながら自分でしようとする。 ・夏の生活の仕方がわかり、生活に必要なきまりを守ろうとする。 ・自分の好きな遊びに喜んで取り組む。 ・物の取り扱いなど友達とのトラブルを経験する中で、保育者の仲立ちで自分の思いを言葉で伝えようとしたり、相手の気持ちを知ったりする。 ・友達のすることを見たり、真似たりしながら、一緒に遊ぼうとする。 ・保育者が仲立ちとなり、異年齢児との関わりをもとうとする。 ・水遊び、泥遊び、砂遊び、プール遊びなど、開放感が味わえる遊びを十分に楽しむ。 ・身近な教材や遊具などの使い方を知り、興味をもって使おうとする。 ・身近な小動物や草花を見たり触れたりする。また、夏野菜の生長に気付き収穫したり味わったりする。 ・自分の見たこと、聞いたこと、したことを保育者や友達に話そうとする。 ・絵本や物語などの簡単な内容がわかり、楽しんで聞く。 ・いろいろなものになったり表現したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ・新しい歌を覚えて友達と一緒に歌ったり、いろいろな音のするものに触れたりする。 ・いろいろな感触を楽しみ、かいたりつくったりして遊ぶ。
環境構成と援助		・一人一人の子どものありのままの姿を温かく受け入れ、個人差に配慮して安心して生活できるようにする。 ・生活習慣に関わることは繰り返し行い、一人一人に応じて保育者と一緒にしたり見守ったり、安心して身につけられるようにする。 ・室内外の遊具を安全に整備し、遊び始めやすいように場を設定しておく。 ・室内の遊び場所は、家庭的な雰囲気をつくり、安心して好きな遊びができるように配慮する。 ・一人一人の興味をさぐり、遊びに誘ったり一緒に遊んだりして楽しめるようにする。		・一人一人の自分でしようとする気持ちを大切に、身の回りの始末など必要に応じて、自分なりに取り組めるように援助し、できた喜びや自信がもてるようにしていく。 ・気温に合わせて熱中症対策など、子どもの健康に配慮して水遊びやプール遊びができるように場や遊具など整えて使えるようにしておく。 ・一人一人のペースを大切にしながら、保育者も一緒に遊び、「おもしろい」「やってみたい」という気持ちがわくように場を工夫する。 ・物の取り扱いなどのトラブルが出てくるので、互いの気持ちを受け止めたり、代弁したりして、状況に応じて対応していく。
家庭との連携		・保護者の思いや気持ちを受け止め、子育ての大切さや喜び、悩みなどに共感し、信頼関係を築いていく。 ・基本的な生活習慣・規則正しい生活リズムが子どもの健康な体をつくるのに大切であることを伝え、協力を求める。 ・登降園時に園生活の様子を具体的に知らせ、保護者に安心感をもってもらう。 ・家庭訪問や懇談などを行い、園や家庭での子どもの様子について連携を密にする。		・暑さのため疲れやすいので生活リズムを整え、十分な休息や栄養をとることの大切さを知らせていく。 ・汗をかきやすい時期なので、体を清潔にすることの大切さを知らせ衣服を十分に用意してもらう。 ・家庭訪問や懇談などを行い、園や家庭での子どもの様子について連携を密にする。

3歳児		Ⅲ期（9月・10月）	Ⅳ期（11月・12月）	Ⅴ期（1月・2月・3月）
子どもの姿		- 自分の思いを言葉や表情、態度で表したり、友達の話の聞いたりする。 - 友達関係が少しずつ広がり、一緒に遊ぶことを喜ぶ。 - 身の回りのことは自分でしようとするが、保育者の援助が必要なきもあり、個人差も大きい。	- 気の合う友達と一緒に同じ遊びを楽しみ、体を動かす楽しさを感じる。 - 身近な自然に触れながら、大小・色・形・多い少ないなどの違いに気付く。 - 友達とのかかわりの中で、楽しく遊ぶためにきまりやルールがあることを知り、簡単なルールのある遊びができるようになる。 - 見立てたりイメージをもったりして、自分なりに表現しようとする。	- 身の回りのことや生活に必要なことを自分でしようとする。 - 安定した気持ちで友達と一緒に遊びを楽しむ。 - 成長の喜びと進級への期待をもち、進んでいろいろな活動に取り組もうとする。
ねらい	教育	- 保育者や友達と一緒に生活することを楽しみ、話したり聞いたり、会話を楽しんだりする。 - 全身を動かして遊ぶことや、みんなで一緒に行動することを楽しむ。 - 生活の仕方を自分なりに考えて、一人でやろうとする。	- 遊びの中で十分に体を動かす楽しさを味わう。 - 身近な自然を見たり触れたりしながら楽しむ。 - 友達との関わりの中で、相手の思いに気付く。 - 自分なりに表現しようとすることを楽しむ。	- 基本的な生活習慣が身に付き、自信をもつてのびのびと行動する。 - 友達と遊んだり話したりすることを喜び、一緒に活動することを楽しむ。 - 大きくなった喜びと、進級への期待をもって生活する。
	養護	- 適切な休息をとり、心身の疲れを癒し、集団生活での緊張感を緩和する。 - 様々な食材に触れ、楽しい雰囲気ですりや間食をとれるようにする。	- 保健的で安全な環境をつくり、快適な生活ができるようにする。 - 気温差や子どもの体調に気をつけながら、衣服の調節を適切に行い、健康に生活できるようにする。	- 規則正しい生活をするを心がけ、冬を健康で安全に過ごせるようにする。 - それぞれの思いや考えを話せる場や時間をゆったりもてるようにする。 - 子どもの成長を認め、自信につなげ、一人一人に応じた援助を心がける。
内容	養護 健康 人間関係 環境 言葉 表現	- 手洗い、うがい、着脱、排泄などの生活の仕方がわかり、自分でしようとする。 - 走る・跳ぶ・転がることや固定遊具での遊びなど、思い切り体を動かす。 - 保育者の指示を聞き、安全に気をつけて行動する。 - 避難訓練に参加し、安全な避難の仕方を知る。 - 簡単なルールのある遊びの楽しさやみんなと一緒にすることの喜びを知る。 - 行事を通して異年齢児とふれあい、楽しさを共に感じたり、年長児に対するあこがれを感じたりする。 - 虫や小動物に興味をもち、年長児や保育者が世話をするのを見たり自分でしたりする。 - 遊びや会話の中でやりとりを楽しみながら、生活に必要な言葉を知る。 - 絵本や紙芝居などに親しみ、何度も読んでもらったり見たりして楽しむ。 - 自分の気持ちや困っていること、してほしいことなど、保育者に自分なりの葉や方法で伝えようとする。 - 友達と一緒にリズムに合わせて体を動かしたり表現したりする。 - 身近な素材や用具を使ってかいたりつくったりし、それを使って遊ぶ。	- 手洗い、うがい、着脱、排泄など自分で手順よくすることを知り、やろうとする。 - 戸外で十分に体を動かしたり、様々な遊具や用具などを使ったりして遊ぶ。 - 散歩や園外に出た時は、友達や保育者と一緒に安全に気を付けて行動する。 - 薄着の習慣を身につけて活動的に過ごす。 - 自分の思ったことを相手に伝え、保育者が仲立ちとなり、相手の思っていることに気付く。 - 行事などでは、異年齢児や地域の人々とのふれあいを喜ぶ。 - 身近な物の大小、色形、多い少ないなどに関心をもち、違いに気付く。 - 木の葉、木の実、小石などを集め、それらを使っていろいろな遊びをする。 - 季節の野菜の収穫を喜ぶ。 - 気の合った友達と遊ぶ中で、言葉のやりとりを楽しみながら、その場にふさわしい言葉を選んで使おうとする。 - 自分の気持ちや困っていること、してほしいことなど、自分なりのことばや方法で伝えようとする。 - 絵本や物語の簡単な内容がわかり、イメージをもって楽しんで聞く。 - 音楽に合わせてリズム楽器を自由にやらして楽しむ。 - いろいろな素材を使って、自分なりのイメージをもち、かいたり、つくったりする。	- 基本的な生活習慣が身につき、自分から進んでしようとする。 - 全身を使った遊びを友達や保育者と一緒に楽しみ、寒くても元気に活動しようとする。 - 危険なものや場所を知り、安全に気を付けようとする。 - 避難の合図を聞き、保育者の指示に従って行動する。 - 異年齢の友達にあこがれややさしい気持ちをもって、関わることを喜ぶ。 - クラスみんなで一緒に、活動する楽しさを感じる。 - 友達が困ったり泣いたりすると、気にかけてたり保育者に伝えたりする。 - 順番や交代することが分かり、並んで待ったり交代で遊具を使ったりする。 - 伝統的な正月遊びや行事に触れて遊ぶ。 - 霜柱、雪、氷など、冬の自然を見たり触れたり、体で感じたりする。 - 公共物や共有するものを大切に扱おうとする気持ちがもてるようにする。 - 感じたことや、考えたことなどを言葉にして伝えようとする。 - 生活や遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ。 - 絵本や紙芝居などに親しみ、好きな登場人物になってみんなで遊ぶことを楽しむ。 - 音楽に合わせて友達と一緒にリズムを打ったり、楽器をならしたりすることを楽しむ。 - いろいろなことを表現する喜びを味わったり、友達の表現を見て楽しんだりする。 - かいたものやつくったものを、保育者と一緒に飾ったり、使って遊んだりする。
環境構成と援助		- 体を動かして運動あそびが十分にできるよう、園庭の整備、遊具、用具の安全点検を行う。 - 言葉だけでなく、表情や身ぶりなど、全身で表現している子どもの気持ちを感じ取り、必要に応じた援助をする。 - 運動会がきっかけとなって、異年齢児のまねをしたり、ゲームを繰り返し、楽しんだりできるように必要なものを身近に置いておく。 - 自分からやってみようという気持ちを認めたり励ましたりするとともに、自分の力でできた時には一緒に喜び、満足感を味わえるようにする。	- 気温の変化に応じ、室温、換気に配慮し、安全で健康的な環境で過ごせるようにする。 - 行動範囲が広がっていくので、必要に応じて遊びの中で安全指導を行っていく。 - 自然の中で見つけたものや身近な材料などが使えるよう、遊びの環境を整えておく。 - 友達との関わりにおいては、一人一人の気持ちを受け止め、相手の思いに気付けるようにする。 - 子どもの思いや見立てなどを受け止めたり、いろいろな遊びを知らせたりして、遊びを楽しめるようにする。	- 冬を健康に過ごせるように、気温差や室内環境に留意し、一人一人の健康状態に合わせて、快適な生活ができるようにする。 - 様々な遊びが十分に楽しめるよう、遊びに積極的に取り組めるような環境を工夫する。 - 異年齢児とのかかわりが自然にもてるように一緒に楽しめる活動や遊びの場をつくる。 - 一人一人の子どもが安心して活動に取り組めるようにつぶやきや表現を受けとめる。 - 一人一人の成長を確認しながら、自分でできるようになったことを認め、自信や意欲につなげていく。 - 保育者も一緒に遊びながら、友達に自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりして、遊びを楽しめるように仲立ちをする。
家庭との連携		- 運動量が多くなる時期なので食事量、睡眠、休息を十分とり健康管理に留意してもらう。 - 子どもの頑張っている姿を伝え、一緒に成長喜び合う。 - 家庭訪問や懇談などを行い、園や家庭での子どもの様子について連携を密にする。	- 感染症など流行する時期なので予防や対応などを知らせていく。又、子どもの健康状態に留意しながら、連絡を密に取り合うようにする。 - 厚着になりすぎないように伝え、調整のしやすい衣服を用意してもらう。 - 友達との関わりが増えてくるため、その日の状況や遊びのようすをこまめに伝えていく。 - 家庭訪問や懇談などを行い、園や家庭での子どもの様子について連携を密にする。	- 感染症など流行する時期なので予防や対応について知らせていく。また、子どもの健康状態に留意しながら、連絡を密に取り合えるようにする。 - 子どもの一年の成長を具体的に伝え、共有しながら進級する気持ちにつなげられるように伝える。 - 自立と甘えの気持ちで揺れ動く時期なので、温かく受け止めてもらえるよう働きかける。 - 家庭訪問や懇談などを行い、園や家庭での子どもの様子について連携を密にする。

4 歳児 年間指導計画		目 標	・ 園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。 ・ いろいろな生活や遊びを通して、保育者や友達との関わりを深める。 ・ 保育者や友達に親しみをもち、自分の思いを出し、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 自然や身近な事象に関心をもち、園生活を楽しみ、喜んでいろいろな活動に取り組む。 ・ いろいろな経験を通して生活に必要な言葉を身に付ける。 ・ 身近な環境に関心をもち、感じたこと、思ったこと、想像したことなどを様々な方法で表現する。	
期		Ⅰ 期（4 月・5 月）		Ⅱ 期（6 月・7 月・8 月）
子 ど も の 姿		・ 新しい環境に、不安や緊張から保護者とは離れにくい姿がみられるが、保育者との関わりの中で安心感をもち喜んで登園する。 ・ 身の回りのことに関しては個人差が大きいが、園生活の流れがわかり自分のことは自分でしようとする。 ・ 好きな遊びを楽しんだり新しい友達に関心をもったりし、みんなと過ごす楽しいという気持ちをもつ。		・ 自分の好きな遊びや気の合う友達ができ、様々な機会を通して友達と触れ合い一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 遊びや生活にきまりがあることが分かり、身の回りの準備や片付け等できることは自分であるようになる。 ・ 水や土、砂の心地よさを身体全体で感じたり不思議さや面白さに気付いたりする。 ・ 生活に必要な言葉に気付いたり自分の思いを言葉等で伝えてみようとしたりする。 ・ 身近な生き物に興味をもち、関わろうとする。
ね ら い	教 育	・ 園生活に慣れ、安心して過ごす。 ・ 生活の仕方が分かり、できることは自分でしようとする。 ・ 保育者や友達に、親しみをもちながら触れ合って遊ぶ。		・ 友達と触れ合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・ 梅雨期や夏の自然に触れて、季節感のある遊びを十分に楽しむ。 ・ 遊びの中で、保育者や友達に自分の気持ちを伝える。 ・ 小動物を見たり触ったりして遊ぶ中で、大切にしようとする気持ちをもつ。
	養 護	・ 健康で安全な環境をつくり、快適に生活ができるようにする。 ・ 一人一人の欲求を十分に満たし、ゆったりと生活ができるようにする。		・ 一人一人の子どもを理解し、認めながら関わっていくことで安心し、自信をもって生活できるようにする。 ・ 一人一人の健康状態を把握し、夏を快適に過ごせるようにする。 ・ 梅雨期・夏期の健康状態に十分注意し、午睡や休息を取ったり、水分の補給を十分にしたりして、心身の疲れを緩和する。
内 容	養 護	・ 保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・ 友達と一緒に楽しく食事をする。 ・ 食事・排泄・着脱などの基本的な生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・ 園生活に必要なきまりや約束事を知る。 ・ 園の遊具や用具に親しみ、安全な遊び方や扱い方を知る。 ・ 交通のきまりや正しい歩行の仕方を知る。 ・ 避難の合図がわかり、指示に従い、すみやかに行動しようとする。 ・ 保育者や友達に親しみをもち、安心して過ごす。 ・ 友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・ 異年齢児と関わり、親しみをもつ。 ・ 地域の高齢者など、身近な人に関わり親しみをもつ。 ・ 戸外で身近な春の自然や小動物に興味をもつ。 ・ 身近な遊具や用具などの扱い方を知り、それを使って遊ぶ。 ・ 保育者の話を友達と一緒に親しみをもって聞く。 ・ してほしいことや困ったことなどを保育者に伝えようとする。 ・ 絵本や紙芝居に親しみ興味をもって見たり聞いたりする。 ・ 生活の中で、いろいろな音・形・手触りがあることを感じて楽しむ。 ・ 歌を歌ったり、手遊びをしたりする。 ・ 歌や曲に合わせて体を動かす。		・ 保育者や友達と一緒に、いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 ・ いろいろな食べ物に興味をもち、見たり触れたりする。 ・ 身の回りのことなど自分でできることは自分でする。 ・ 梅雨や夏を健康に過ごすために必要な生活の仕方を知る。（汗の始末、衣服の調節、水分の補給など） ・ 遊具や用具の正しい扱い方を知り、安全に使って遊ぶ。 ・ 簡単なルールのある遊びを楽しみ、約束を守ろうとする。 ・ 災害時の行動の仕方を知る。 ・ 異年齢児に親しみをもって一緒に遊ぶ。 ・ 水や砂、土の感触を味わいながら体全体を使って遊ぶ。 ・ 身近な生き物を、触ったり世話をしたりしながら興味や関心をもつ。 ・ 栽培物の生長や変化に気付いたり、友達と一緒に世話をしたりする。 ・ 日常生活に必要な言葉を使ったり、保育者や友達の話を親しみをもって聞いたりする。 ・ したいこと、してほしいこと、思ったことを保育者や友達に言葉で伝える。 ・ 絵本や図鑑などに興味をもって見たり、聞いたりする。 ・ 楽器に親しみ、簡単なリズムに合わせて遊ぶ。 ・ 身近にあるいろいろな素材や用具に親しみ、好きなものをかいたり、つくったりする。
	健 康 人 間 関 係 環 境 言 葉 表 現			
環 境 構 成 と 援 助		・ 新しい環境で安心して遊べるように、慣れ親しんでいる遊具や用具を準備するとともに落ち着ける場を確保する。 ・ 一人一人の子どもを温かく受け止め、触れ合う中で安心感を与え保育者との信頼関係を築きながら、園生活の楽しさや生活の仕方がわかるよう丁寧にかかわる。 ・ 友達や保育者と一緒にいることにう喜びを感じられるようクラス全体で楽しく過ごせる時間をつくる。 ・ 新入園児と進級児の遊び方や生活の違いに配慮し、一人一人が安心して過ごせるようにする。		・ 一人一人の遊びの姿を把握し、自ら遊びたくなるような環境を工夫する。 ・ 飼育栽培物について、その変化や生長に関心をもち、自分達で世話ができるように環境を整える。 ・ 夏ならではの遊びを通して、気持ちを開放して存分に遊ぶ心地よさを経験できるようにする。 ・ 保育者が仲立ちとなり、友達との接し方や遊び方がわかるよう場面をとらえて援助する。 ・ 汗の始末や水分補給などの必要性を知らせ、適度に休息をとれるよう活動の時間や流れ、場の工夫をする。
家 庭 との 連 携		・ 子どもたちの緊張と不安を十分に受け止め、安心して登園できるよう、家庭との話し合いを十分にする。 ・ 保護者の思いをしっかり受け止め、子どもの様子を伝え合うことで信頼関係を築いていく。 ・ 緊急の連絡方法や、登降園時の安全について保護者の協力を依頼する。		・ 子どもの生活や健康状態を把握し、家庭との連絡を密にする。 ・ 園生活の遊びの様子をポートフォリオ等で掲示する事で、子どもの様子や興味などを理解できるようにする。 ・ 子どものできることは、できるだけ自分の力で進められるように見守ってもらい、子どもの自立と自信につながるよう両方で協力できるようにする。

4 歳児		Ⅲ期（9 月・1 0 月）	Ⅳ期（1 1 月・1 2 月）	V 期（1 月・2 月・3 月）
子 ど も の 姿		- 身体を動かす心地よさを感じ、友達と一緒にいろいろな運動遊びに挑戦しようとする。 - 遊びを通して友達関係が広がり、生活のきまりや遊びのルールの大切さに気付く。 - 身の回りの自然物や事象、いろいろな材料などに興味をもち関わったり 試したりする。	- 周りの人や物への興味や関心を広げ、自分なりにやってみようと意欲をもったりやり遂げた満足感を味わったりする。 - 友達との関わりを通して、自分の気持ちを相手に伝えたり話を聞いたりする。 - 遊びの進め方を友達と一緒に考え、イメージを共有して遊ぶ。 - 身近な自然の美しさに触れたり、音、色、匂い、感触など五感を通して遊んだりする。	- 自分の思いや考えを、自分なりの言葉で伝えたり友達の思いを受け入れたりしながら友達と気持ちを合わせて遊びを進めていく。 - 進級することに期待をもち、自分なりに力を発揮して生活や遊びに自信をもって取り組む。 - 身近な事象の変化に興味・関心をもち、発見や感動を味わう。
ね ら い	教 育	- 戸外で体を十分に動かして遊ぶ。 - 友だちと一緒に集団の決まりを守り、戸外での運動を楽しむ。 - 身近な自然に触れ、興味や関心をもつ。 - いろいろな素材に親しみ、自分のイメージや思いを表現して楽しむ。	- 遊びや生活の中で、友達と思いを出しあって遊ぶ楽しさを味わう。 - 友達と一緒に遊びの場をつくったり、見たこと、感じたことを様々な方法で表現したりすることを楽しむ。 - 身近な自然と十分に触れ合い、興味をもって見たり、考えたりして遊ぶ。	- 友達と一緒に試したり、工夫したりして遊びを進めていく楽しさを味わう。 - いろいろな活動を通して年長組になることへの期待や喜びをもつ。 - 身近な自然の変化に興味や関心をもち進んで関わる。
	養 護	- 一人一人の欲求を十分に受け止め、情緒の安定を図りゆったりとした生活ができるようにする。 - 個人差を把握し、一人一人の頑張りを認め安定して過ごせるようにする。 - 気温の変化に応じて、室温、換気に配慮し、体調を崩さないで、健康で安全な生活ができるようにする。	- 一人一人の欲求を十分に受け止め、情緒の安定を図りゆったりとした生活ができるようにする。 - 気温の変化に応じて室温、換気に配慮し、衣服の調節や薄着の習慣が身に付くようにする。	- 一人一人の欲求を十分に受け止め、情緒の安定を図りゆったりとした生活ができるようにする。 - それぞれの思いや考えを話せる場や時間をゆったりともち、一人一人が十分自己を出せるようにする。 - 暖房、換気、寒さへの対応をするなど、健康・安全に過ごせるようにする。
内 容	養 護	- いろいろな遊具や用具を使い、戸外で体を動かして友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 - 健康な生活に必要な習慣を身に付ける。 - 簡単なきまりやルールの大切さに気付く。 - 災害時の行動の仕方を知り、気をつけて行動する。 - 友達や保育者と一緒に、共通の目的をもって運動遊びをする。 - 異年齢児と一緒に活動する楽しさを味わう。 - 地域の高齢者など、身近な人に関わり親しみをもつ。 - 自然の美しさに触れて感動し、自然物を使って遊ぶ。 - 共同の遊具や用具を大切に、みんなで譲り合って使ったり、片付けたりする。 - 具体的な物を通して数や量、色や形などに関心をもつ。 - したこと、見たこと、感じたことを言葉で表わそうとする。 - 自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いを知ったりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。 - 絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わう。 - 遊びに必要なものをかいたり、つくったりして表現することを楽しむ。 - 音楽に合わせて体を動かしたり、イメージしたことを自由に表現したりする楽しさを味わう。 - 色々な素材を自分のイメージに合わせて見立て、遊びに使う。	- 戸外での遊びに進んで参加する。 - 集団でのルールのある遊びを楽しむ。 - 休息の仕方がわかり、運動や食事の後は静かに過ごす。 - 友達と遊びの場をつくり、イメージを具体的に表して遊ぶ。 - 友達と楽しく生活する中できまりに気付き守ろうとする。 - 様々な交流を通して、身近な地域の人々に興味や関心をもつ。 - 自然の美しさに触れて感動したり、自然物を使って遊ぶことを楽しんだりする。 - 身近な自然に興味をもって見たり触れたりしながら、季節の変化を感じる。 - 栽培を通して、収穫や食べる喜びを味わう。 - 生活や遊びの中で、物を集めたり、分けたり整理したりする。 - 園外保育等で、簡単な標識に興味や関心をもつ。 - 見たこと、聞いたことを相手にわかるように自分なりの言葉で表現しようとする。 - 絵本や物語、視聴覚教材などを興味をもって見たり、使ったりして、いろいろな表現を楽しむ。 - 歌や簡単な合奏をみんなでする楽しさを味わう。 - いろいろな素材をイメージに合わせて、工夫して遊びに使う。	- 戸外で全身を動かし、みんなで一緒に遊ぶことの楽しさを味わう。 - 自分の健康や、体と食べ物に関係に興味をもち、様々な食べ物を進んで食べる。 - 冬の健康な生活に必要な習慣を身に付ける。 - 危険なものや箇所を知り、安全に気を付ける。 - 災害時などで自分の命を守るという意識をもち、安全に行動する。 - 簡単なルールを作り、友達と一緒に遊びを楽しむ。 - 簡単な自分の目当てに取り組む。 - 友達と一緒に遊びや役割を楽しみながら、やり遂げようとする気持ちをもつ。 - 良いこと悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。 - 人からの親切に対して心地良さを感じ、自分も親切にしようとする。 - 異年齢児にいたわりの気持ちや愛情をもつ。 - 身の回りの環境をきれいにし、年長組になることに期待をもつ。 - 冬から春の事象に触れ、驚きや疑問をもち試そうとする。 - 春の植物の世話をし、生長を楽しみに待つ。 - 日常生活の中で、数量や図形・文字に関心をもつ。 - 思ったことや経験したことを言葉で伝えようとする。 - 保育者や友達の話に親しみをもって、聞こうとする。 - 絵本、物語、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉や音楽で表現して遊ぶ楽しさを味わう。 - 遊びに必要なものを工夫して、かいたり、つくったりして友達と一緒にそれを使って遊ぶ。
	健 康			
	人 間 関 係			
	環 境			
	言 葉			
	表 現			
環 境 構 成 と 援 助		- 友達と関わりをもてるような場を工夫し、一緒に活動する喜びが味わえるようにする。 - 一人一人の子どもがそれぞれの興味に応じた活動に取り組めるような素材や用具を十分に用意し、やってみようとする意欲がもてるようにする。 - 子ども同士が一緒に体を動かしたり互いのよさに気付ける機会を大切にしたりしながら、意欲や創造性を育てるようにする。	- 子ども同士が誘い合い刺激し合って、一緒に活動する楽しさが味わえるようにする。 - 自然物を使って試したり遊んだりしながら、自然を身近に感じるができるようにしておく。 - 自分達で遊びを進める姿を大切にしながら、必要に応じて互いの思いを伝えあえるように話を聞いたり言葉で補ったりする。 - 気温の変化に応じて室温、換気に配慮し、衣服の調節や薄着の習慣が身につくよう声をかけ援助する。	- イメージをいろいろな表現できるようなコーナーを設け、自分で考えたり試したり工夫したりして、遊びが進められるようにする。 - 同じ目的や興味をもつ友達の考えが伝わるように色々な方法で援助し、自分達で遊びを展開しながらそれぞれの子どもが自己発揮できるようにする。 - 機会を捉えて遊びから自然のおもしろさや不思議さを感じ取れるようにする。 - 年長組になることへの期待感が膨らむように、年長児と連携をとったり自分なりのめあてに取り組もうとする姿を認めたりしていく。
家 庭 の 連 携		- 夏の疲れがしやすい時期なので生活リズムを整えて登園できるように家庭と連携を取り合う。 - 様々な行事を経験する中で、子どもの成長の様子や取り組みもうとしている姿、子どもの遊びを理解してもらう。	- 様々な感染症等が流行する時期なので、手洗いやうがい、衣服の調節などを伝える。 - 様々な行事や遊びを経験する中で得られる一人一人の育ちを伝え、成長や発達を共に喜び合う。	- 子どもの成長を具体的に知らせ、成長の喜びを共有する。 - 基本的な習慣や態度、遊び方、友達関係などへの保護者の思いを受け止めるとともに、進級に向けての課題について共に考え期待がもてるようにしていく。

5 歳児 年間指導計画		目 標	・ 基本的な生活の習慣を身につけるとともに、意欲的に遊びや生活に取り組み、主体的に行動する充実感を味わう。 ・ 人とのかかわりの中で社会生活における必要な態度を身につけ、みんなで協力したり、役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。 ・ 友達と存在を認め合いながら、協力して遊びを進め、達成感や充実感を味わう。 ・ 自然や身近な事象に関心をもち、積極的に関わり、心情を豊かにする。 ・ 生活の中で必要な言葉を身につけ、自分の気持ちを表現するとともに、伝え合う喜びを味わう。 ・ 感じたこと思ったことなどをいろいろな方法で工夫して表現し、意欲的・創造的に遊びに取り組む。									
幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿			健康な心と体	自立心	共同性	道徳性・規範 意識の芽生え	社会生活との 関わり	思考力の芽生え	自然との関わ り・生命尊重	数量や図形、 標識や文字など への関心・感覚	言葉による 伝え合い	豊かな感性 と表現
期		Ⅰ 期（4 月・5 月）						Ⅱ 期（6 月・7 月・8 月）				
子 ど も の 姿		・ 新しい環境への喜びや不安な気持ちに保育者・友達に関わることで安定して過ごすようになる。 ・ 自ら進んで生活に必要なことに取り組んだり異年齢児に親しみをもって関わったりする中で年長児としての自覚をもつ。 ・ 動植物の世話や当番活動を積極的にしたり身近な自然に興味・関心をもったりする。 ・ 気の合う友達といろいろな遊びを楽しんだり進んで体を動かしたりする。						・ いろいろなことに挑戦し、やり遂げた喜びを感じ自信をもつ。 ・ 自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、友達と一緒にいろいろな活動を楽しむ。 ・ 砂や土、水などの特性をいかし、必要に応じて様々な用具や材料を使って、試したり工夫したりして遊ぶ。				
ね ら い	教 育	・ 新しい生活や環境に慣れ、保育者や友達と一緒に遊びや生活を楽しむ。 ・ 年長児としての喜びと自覚をもち、生活や遊びに進んで取り組む。 ・ 春の自然に親しみ、身近にある自然物を使って遊ぶ。 ・ 戸外に出て、進んで体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。						・ 季節感のある遊びを十分に楽しみ、充実感や達成感を味わう。 ・ 自分の力を十分に発揮して運動や遊びに取り組む。 ・ 友達とのつながりを深め、互いの思いを伝え合いながら遊びを進める楽しさを味わう。 ・ 自然や身近な環境に触れ、見たり試したりする。				
	養 護	・ 一人一人の子どもの気持ちや考えを受け止め、信頼関係を築き、情緒の安定した生活ができるようにする。						・ 一人一人の気持ちや考えを受け止め、信頼関係の中で自分を表現できるようにする。 ・ 梅雨期・夏期の健康状態に十分配慮し、休息を必要に応じて取り入れ、心身の疲れを緩和する。				
内 容	養 護	・ 進んで戸外に出て、体を十分に動かして遊ぶ。 ・ 簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・ 生活のきまりを確認し、年長児としての生活の仕方や習慣を身に付ける。 ・ 安全に気をつけて、遊具や用具を正しく使う。 ・ 災害時の危険を知り、合図や指示に従い安全に行動する。 ・ 公共の場での約束事を知り、理解して行動する。 ・ 保育者や友達と一緒に遊んだり生活したりすることを楽しむ。 ・ 友達と過ごす楽しさを味わい、共に生活する中で、きまりの大切さに気付く。 ・ 異年齢児に親しみをもって優しくかかわり、年長になった喜びを味わう。 ・ 春の自然に触れ、美しさや季節の変化に興味をもつ。 ・ 自然物を使って遊ぶことを楽しむ。 ・ 身近な動植物に親しみ、愛情をもって触れたり世話をしたりする。 ・ 自分の気持ちを相手に分かるように言葉で伝えようとする。 ・ いろいろな絵本や物語の展開に興味をもって聞き、楽しむ。 ・ 友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりすることを楽しむ。 ・ いろいろな物を使ってかいたり、つくったりする。						・ 進んで戸外の遊びに参加して十分に楽しみ、目的をもち挑戦していこうとする。 ・ 自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・ いろいろな活動に興味をもち、友達と意見を出し合いながら遊びをつくっていく楽しさを味わう。 ・ 身近な地域の人々や異年齢児に親しみをもって遊ぶ。 ・ 自然などの身近な事象に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。 ・ 水や砂、土などを使った遊びに進んで取り組み、試したり工夫したりしながら体全体を使って遊ぶ。 ・ 身近な動植物に触れ、遊んだり観察したりして世話をする中で、命あるものの存在に気付き大切にする。 ・ 栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しんだり、食する喜びを味わったりする。 ・ 自分の言いたいことをわかるように話すとともに、友達の話も聞こうとする。 ・ 絵本・物語・図鑑・視聴覚教材に親しみ、想像する楽しさを味わう。 ・ 友達と一緒に曲に合わせてリズムカルな動きや楽器遊びを楽しむ。 ・ いろいろな素材・材料を使って、試したり工夫したりして作ることを楽しむ。				
	健 康											
	人 間 関 係											
	環 境											
	言 葉											
	表 現											
環境構成 と 援 助		・ 子ども達とともに生活の場をつくっていくことを大切にし、その過程を通して年長組になった実感がもてるようにしていく。 ・ のびのびと安定した気持ちで生活できるように活動の流れに沿って時間や場を設定し、ゆとりがもてるようにする。 ・ 年長組になった喜びと不安に揺れ動く気持ちを受け止め、一人一人に丁寧にいかかわっていく。						・ 気候や気温の状況に応じて、熱中症対策等子どもの健康に配慮して遊びがおこなえるような環境を構成していく。 ・ 身近な動植物と触れ合う機会を多くし、自分たちの興味や疑問を追求したり、継続して成長を見守ったりすることができる環境を工夫する。 ・ 子ども同士の気持ちの行き違いや葛藤に寄り添い、自分達で遊びを進められるよう声をかけたり見守ったりする。				
家 庭 との 連 携		・ 家庭での様子を聞いたり園での様子を伝えたりしながら、一人一人の保護者との信頼関係を築いていく。 ・ 基本的な生活習慣の自立に向け、生活リズムを整えることの大切さを伝える。 ・ 災害・緊急時の連絡方法や避難場所を確認する。						・ 子どもの成長している姿や頑張っている姿を伝え、子どもの成長をともに喜び合えるようにする。 ・ 家事を手伝う場をつくるなど家族の一員として生活していくことが大切なことを話していく。 ・ 人間関係等で悩む保護者の気持ちを十分に受け止め、いつでも園に相談できるという信頼関係を築いていく。				

5歳児		Ⅲ期（9月・10月）	Ⅳ期（11月・12月）	Ⅴ期（1月・2月・3月）
子どもの姿		- 力いっぱい体を動かしたり自分なりに目当てをもって取り組んだりし、充実感や達成感を味わう。 - 友達と協力したり工夫したりして遊びを進め、気持ちを合わせて遊ぶことを楽しむ。 - 自然の変化に気付き、好奇心や探究心をもって積極的にかかわる。	- 経験したことや感じたことからイメージを広げ、いろいろな方法で自分なりに表現することを楽しむようになる。 - 友達と共通の目的をもって相談したり工夫したりしながら活動することを楽しむ。 - 秋から冬への移り変わりを感じながら自然物や素材・用具の特性を活かし工夫したり試したりして遊ぶ。	- 互いのよさを認め合いながら活動をすすめる中で目的を共有し、工夫したり協力したりする充実感を味わう。 - 就学への期待をもち、自分の力を発揮しながら、自信をもって園生活を送るとともに、うれしさを感じながら主体的に行動できるようになる。 - 水や雪、霜など冬の自然事象や春への移り変わりに関心をもち、友達と考えたことを試してみようとする。
ねらい	教 育	- 思いきり体を動かして遊ぶ中で、自分の力を十分に発揮する心地よさを味わう。 - 友達と気持ちや考えを出し合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう。 - 身近な自然の移り変わりに気付き、疑問をもって積極的に調べたり試したりする。	- 遊びや生活の中で、友達と共通の目的をもって、工夫しながら意欲的に活動に取り組む。 - 自分たちで考えたことを遊びの中で、イメージを広げながら表現したり実現したりする楽しさを味わう。 - 秋から冬への自然の事象や自然物に興味や関心をもって関わり、試したり、考えたりしながら遊ぶ。	- 一人一人が自分らしさを大切にしながら、協力して遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 - 友達といろいろな活動に楽しんで取り組みながら、自分の思いや感じたことを言葉で伝え合うなど豊かに表現し合い、互いの成長を喜び認め合う。 - 身近な生活に必要な事物や自然事象に関心をもち、興味をもって関わりながら、友達と一緒に伝え合ったり試したりする。
	養 護	- 一人一人の欲求を十分に受け止め、情緒の安定を図り、ゆったり生活ができるようにする。 - 一人一人の心や体の状態を把握し、それぞれの頑張りを認め、安定して過ごせるようにする。	- 一人一人の欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。 - 子ども達との信頼関係を深めながら、遊びや生活の中で、共通の課題をもって生活経験が広げられるようにし、意欲を引き出せるようにする。 - 気温や活動に応じて衣服の調節を行い、健康・安全に過ごせるようにする。	- 一人一人も子どもの就学への期待や不安を受け止め、残り少ない園生活が安定し、充実したものになるようにする。 - 保健的で安全な環境の中で、自信をもってのびのびと生活ができるようにする。
内容	養 護	- いろいろな運動遊びに興味をもち、自分の力を発揮して遊ぶ充実感を味わう。 - 運動遊びに必要なルールを守りながら、友達と一緒に楽しむ。 - 危険な場所や遊び方がわかり、安全に行動しようとする。 - 災害時の身の守り方がわかり、保育者や友達と一緒に機敏に避難する。 - 友達と意思を出し合いながら、自分たちで遊びを進めていく。 - 友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付き受け入れようとする。 - 生活や遊びの中で異年齢児に積極的にかかわる。 - 身近な地域の行事や人々に触れ、興味関心をもつ。 - 身近な動植物に触れ、遊んだり観察したりする中で命ある存在に気付き、いたわったり大切にしたりする。 - 日常生活の中で数量・図形・位置・時間に関心をもち、生活の中で使って遊ぶ。 - 考えたことや感じたことを相手にわかるように話したり、相手の言葉や表情からその思いに気付いたり理解しようとしたりする。 - 絵本や物語などに親しみ、友達と一緒にイメージを膨らませながら楽しむ。 - 友達といろいろな歌を歌ったり楽器を使ったりして、様々な歌や曲にふれ、音やリズムの変化を楽しむ。 - 遊びに必要なものを、適切な材料を考えて使い、工夫してつくったもので遊ぶことを楽しむ。	- 戸外遊びに意欲的に取り組み、自分なりに目的をもって運動遊びをする。 - 冬の健康に必要な生活習慣を身につける。 - 園外保育等で簡単な標識に興味や関心をもち、交通ルールを守る。 - 集団遊びの楽しさがわかり、友達と一緒に遊びを発展させる。 - 家庭や地域の身近な行事や、地域の人々に関心をもって関わり、親しみをもつ。 - 身近な自然の美しさや季節の移り変わりに親しむ。 - 自然物を使って様々な遊びを楽しみ、素材の感触や色・形・性質などに 気付いたり調べたりする。 - 栽培活動を通して、収穫や食べる喜びを味わう。 - 自分の思いや考えを言葉で表したり、友達の考えやイメージを受け止め たりして伝え合う楽しさを味わう。 - 絵本や物語などを聞く中で、言葉の面白さや、言葉の豊かさ に気付く。 - いろいろな音楽に親しみ、感じたこと、考えたことなどを、音や動きで表現する。 - さまざまな素材や用具を利用してイメージを実現しようとする。	- 戸外で十分に体を動かし、友達と一緒にいろいろな運動遊びに 取り組み、多様な動きを楽しむ。 - 進んで生活や行動にけじめをもち、自分で考えながら場面に 応じた行動をする。 - 感染症予防を意識して、手洗い・うがいを進んで行う。 - 災害時などの適切な行動がわかり、命を守る意識をもつ。 - 食事の大切さを知り、食べ物などに関心をもちマナーを守って 楽しく食べる。 - 園生活の中で生活に見通しをもち、時間を意識して行動する。 - 友達と共通の目的に向かって、自分たちで役割を分担したりルールを決めたりしながら、自分の力を発揮し主体的に生活や遊びを進める。 - 生活をともにしてきた友達や異年齢児、身近な人々と心を通わせ、 大きくくなった喜びを味わい感謝の気持ちをもち、 - 身近な自然事象や社会事象に関心をもち、友達と探求することを 楽しむ。 - 身近な動植物のいのちに気付き大切にする気持ちをもって関わる。 - 考えたことや感じたことを相手に分かるように話したり、相手の話を聞いて受け入れたりし、言葉による伝え合いを楽しむ。 - 自然事象やいろいろな出来事の中でイメージを膨らませ、感動したことを様々な方法で表現し伝え合う。 - 遊びや生活の中で簡単な標識や文字、数、図形などに関心をもち、 考えたり日常生活に取り入れ使ったりする - 友達と一緒に絵本や物語などに親しみ、想像力を豊かに膨らませ たり表現したりする楽しさを味わう。 - いろいろな音楽に親しみ、感じたこと考えたことなどに耳を傾け、 想像を豊かにし、音やリズム、動きで表現する楽しさを味わう。 - 材料や用具を目的に合わせて選び、伸び伸びと表現し、作品を 大切に扱うとともに友達の表現にも関心をもつ。
	健 康			
	人 関 係			
	環 境			
	言 葉			
	表 現			
	環境構成と援助	- 一人一人の頑張りの取り組みの様子をとらえ、それぞれの成長を認め自信がもてるようにする。 - 友達と相談したり、協力したりしながら遊びや生活が楽しめるような場の工夫や時間の確保をする。 - 遊具や用具の点検および活動する場の整備を行い、安全に遊ぶことができるようにする。 - 秋の自然に触れる機会を多くもち、季節の変化に自ら気付くとともに探究心が満たされるように豊かな環境を用意する。	- 感染症予防・うがい・手洗いの大切さなどを再確認し、健康に過ごせるようにする。 - 子どもの知的好奇心や探究心が満たされるよう遊びが継続して取り組める場を整え、十分な時間を確保する。 - 友達と遊びに必要な場づくりをし、目的に向かって考えたり工夫したりしながら充実感をもてるようにする。	- 友達やクラス全体で、創作や表現を楽しめるような活動を取りあげ協同する 楽しさや充実感を味わえるようにする。 - 文字や数、自然など身近な環境に好奇心をもって関わる機会を大切に し、 子どものつぶやきや気付きをとらえたり伝える場を設けたりする。 - 一人一人が園生活を通じて培われた力や自信、誇りをもって就学を迎えられるようにする。
家庭との連携		- 夏の疲れが出やすく、運動量や活動量が多い時期なので、生活リズムを整えて登園できるように家庭と連携を取り合う。 - 子どもが自分なりに課題をもって取り組んでいることなどを保護者に伝え、子どもの成長する姿をともに喜び合う。	- 冬の健康について家庭と連絡を取り合い、感染症予防などの注意喚起を行う。 - 様々な行事や遊びを経験する中で、育つ姿や目的に向かって取り組む姿を含めて、クラス全体としての取り組みを丁寧に伝え、保護者とともに励まし認めていけるようにする。	- 園準備等を子ども自身が行ったり生活習慣を見直したりするなど、子どもの 自立に向けてとにも取り組んでいく。 - 就学までの期待が高まっていくように子どもの成長を認め合い、喜び合えるようにする。 - 初めて入学を迎える保護者の不安が少なくなるよう、子どもの成長を伝え、小学校とも連携し、どのような準備をすればよいかなど知らせていく。